

いのちの言の葉

「いのち」(道徳)

平成20年度 高岡市立福岡小学校 1・2年

富山県教育委員会 平成20年度いのちの教育支援事業 平成20年7月16日実施

「いのち」ってすばらしい

ファミリーパークでお世話している動物を紹介したり、キリンのいのちの誕生や障害に負けず生きる動物の生と死の話をしていただきました。

長崎 宏美先生のプロフィール

・富山市ファミリーパーク飼育員

キリンの赤ちゃんがちゃんと生まれてうれしかったよ。朝になると、歩けるようになっていてびっくりしたよ。



【内容】

- ・幼いころの動物とのかかわり
- ・ファミリーパークでお世話している動物の紹介
- ・いのちの誕生
- ・障害に負けず生きる動物の生と死
- ・いのちのつながりと尊さ

キリンが赤ちゃんをうむとき、お母さんのキリンはすごくがんばっていました。ぼくが生まれるとき、ぼくのお母さんもキリンみたいになんかがんばっていたんだらうな。ぼくは、「お母さん、ありがとう。」と思いました。

羊がぎ足になっても元気に生きていたのに、とつぜん死んでしまっただけでかわいそうだったよ。長さき先生が、「一生わすれない。」と言って泣いておられて、かなしくなったよ。



キリンもいろんな動物もがんばって生きていてすばらしいと思いました。人間も動物もいっしょだと思いました。

